

平成30年9月28日

東松島市議会議長 阿部 勝徳 様

(会派名) 市民クラブ

代表者氏名 藤高夫 

会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、 研修費、 広報費、 広聴費、 要望・陳情活動費、 会議費

- 2 活動名称: 1.北海道更別村長敬訪(向)北ハロ-7ゴルフ場の経営  
2.同-熱中小学校の実態
- 3 実施期日: 4.同-セコ町SDGsの文脈と定住化促進政策  
H30.7.30~8.1迄
- 4 活動成果:  
別紙の通り

5 添付書類:

別紙の通り



# 政務活動報告（別紙）

平成30年7月30日～8月1日  
東松島市議会 会派「市民クラブ」

平成30年7月30日 於：北海道河西郡更別村

- 1、更別村長 西山猛氏への表敬訪問・懇談
- 2、視察内容

- 1) 地域複合施設について：平成28年、旧熱中小学校跡を利用し整備されたもの  
ア、熱中キャンパス 10代から80代まで現在152人が集う、地域交流センター・魚の養殖と水耕栽培を同時に行う環境型産業館など体験型研修施設であり、十勝管内ほか全国から通っている。目的はビジネス・観光・人的交流により、ひいては村への定住化促進が狙いとのものであった。  
イ、熱中ゲストハウス いわゆる宿泊施設である。65名の収容でレストランも併設され誰でも宿泊可能である。

\* 所見：最近まで村には旅館が1軒、コテージ1か所であったが「海と大地」「市・村の交流」にも十分活用出来ると思われる。しかし食事は洋食オンリーのものでメニュー増を考へべきと見料される。

- 2) パークゴルフ場の経営について：名称はどんぐり公園プラムカントリー。54ホールで公設民営で現在は指定管理委託である。詳細は別添資料の通りである。

\* 所見：地域活性化・健康増進を主目的に整備されたものであるが、効果有りとの問題点が想定される。  
ア、健康増進効果は平成25年度と29年度の医療費総額をみれば7千万円程、低下している。パークゴルフが全てでは無いが、一定の効果があると思われる。  
イ、年間平均来園者は18,000人。人口3,200人で、単純計算にして予想される本市の来場者は22万5千人となり、かなりの経済効果があると思われる。実際の年間稼働日数は1.8倍くらいとなるので来場者は想定より多くなると思われる。  
ウ、来場者が多い程、維持経費は大となる。特に更別では大型の芝刈り機が数台あり、収入と経費とのバランスシートを考へておく必要がある。  
エ、国際公認コース取得の問題がある。有る無しでは、内外への影響は大きい。

平成30年7月31日 於：北海道虻田郡ニセコ町

- 1、移住定住化対策について 2018年3月現在で5,115人、2,015年には5,635人が予想されるが、その後は減少に転ずるのは間違いない。人口の推移はニセコ町の観光入込数と比例している事から、次の政策に重点をおいている。
  - 1) ニセコ自治創成総合戦略  
ア、豊かな自然と静かな環境を維持し、多様な働き方を実現する。  
イ、交流人口の拡大と定住環境作り
  - 2) 自治創成と地域おこし協力隊 平成23年度から29年度まで計25名、内6名が町内起業、3名が町内就業  
定住率64%。

以上は抜粋であるので添付資料参照

\* 所見：街づくりにおいて全国的に知られたニセコではある。しかし労働人口の減少、住宅に適した土地が少ない、従って上下水道などのインフラ整備の遅れ等、問題が無いわけでは無い。  
ニセコ町の地域おこし協力隊からの定住率は我が市と比べ高い。原因の一つは、この町に魅力がある事だと思う。東松島のやり方で良いのか、ふり返る必要がある。

## 2、SDGs（持続可能な開発目標）について

同テーマの定義と取り組みについて、同時期に選定されたセクターの関係者と1時間半にわたり意見交換をした。両者とも、核心的な結論をえる事は出来なかつたが、これまでの国の特定したモデル事業だけでは無く、自治体を将来にわたって維持しない。いく為には、自治体組織の全てに關連づけられたもので無ければ単発事業展開でなればならず、その相乗効果によって持続可能な行政を循環させゆくものでもあって、多様な連携によって成り立つものである。国でいえば省庁の横断的支援、地方自治体でいえば、縦割りで無い横の連携でなければ、SDGsは成功はしない。国はこれによって全国自治体に波及させたい目論みがある。このことである。